



# はちもり

校訓：海のように 波のように 岩のように

令和6年4月19日(金) 第3号 文責：安部 晃幸

八峰町立八森小学校

目指す子ども像

- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



## 待ちに待った、春到来!!

暖かい日が続き、桜も満開に近いです。本格的に春の到来を迎えました。

4月15日(月)、玄関前のプランターに植えられたチューリップも咲き始めました。プランターの置かれている位置によって、咲き方にムラがあるため、プランターの移動を6年生がやってくれました。指示を受けて、てきぱきと行動する6年生は頼もしいです。

春は新しいことにチャレンジしたくなったり、気持ちを前向きにしてくれたりする季節。春の穏やかな陽差しと、真っ青な空や海に見守られながら、子どもたちは新しい環境に早くなじもうと頑張っています。



動きはじめも鈍かったのに、元気が満ちてきました。

## 今度は私たちの番です!!

2年生が「学校たんけん」において準備を行いました。「学校たんけん」とは、2年生が1年生を引き連れて、校内を案内しながら、学校のことを教える活動です。

昨年度は、教えてもらう立場だった2年生ですが、今度は自分たちが教える立場となり、先生方や特別教室の写真撮影に意欲的に取り組んでいました。その姿から、1年間の成長を感じ、うれしくなりました。



## 全国学力・学習状況調査



4月18日(木)、全国学力・学習状況調査があり、6年生が調査に臨みました。今年は国語、算数の2教科です。

初めての慣れないテストでしたが、最後まで集中して取り組んでいました。

結果の概要につきましては、学校報にて報告させていただきます。

なお、結果は分析し、その後の補充指導に活用していきます。



## 今週の1枚



健康委員が一人一人をチェック

4月15日(月)、健康委員による「さわやかチェック」がありました。今回はハンカチとティッシュの確認です。机の上にハンカチとティッシュを出した1年生は、緊張気味に椅子に座っていました。毎週月曜日の朝の日課です。今日はツメや名札のチェック等も行います。ご家庭でも確認をお願いします。

## 運動会のお知らせ

期日 5月12日(日)  
 \*雨天時は19日(日)に延期  
 会場 八森小学校グラウンド  
 日程 8:50 入場行進  
 12:30 終了予定  
 種目 各学年徒競走  
 学年種目他

※参観者の制限はしませんので、皆さんどうぞおいでください。子どもたちの頑張りを、ぜひご覧ください。



## 授業の様子から



【1年】体育  
穏やかな陽差しの下、50m走に取り組んでいます。自分の走りを頑張るだけでなく、友達の走りにも大きな声を出して応援していました。



【2年】算数  
2けたの数のたし算の学習です。どのように計算したらよいか見通しを立て、自分なりのやり方で考えていきます。



【3年】国語  
物語文のおおよその内容の読み取りができたかどうか、自己評価とその理由を述べています。次時から詳細な読み取りの学習に進みます。



【4年】書写  
「横画」や「縦画」、「折れ」や「はらい」など、様々な点画をなぞって、その筆遣いを確かめています。集中して取り組んでいました。



【5年】理科  
自分たちが住んでいる地域の天気を、ネットの様々な気象情報を利用して調べ、気付いたことを発表しています。



【6年】外国語  
自分の好きなものについて紹介しています。紹介後は、お互いに感想を述べ合って評価しました。表現力豊かな6年生です。



に繋がっていることを実感しました。が吹き抜けていきました。過疎化の進行や閉塞性の強さに目が向けられがちな地域ですが、豊かな自然との共存は、豊かな心の育成に繋がっていることを実感しました。

旧藤里中学校は、町の中心部から向かうと、最後に急な上り坂が約200メートルに渡って続きます。その坂を上り終えようとするタイミングで、前方を自転車を押して登っていた男児を追い越そうとしました。すると、追い越すのとほぼ同時に自転車で乗った男児。偶然にもそのまま並走する形になりました。私に気付き、「こんには」と元気な声であいさつする男児。こちらもうあいさつを返すと、「どこに行くのですか?」と、実に丁寧な言葉遣いで話しかけてきます。聞くところ、男児は小学5年生で、友達のところ遊びに行く途中であるとのこと。

3分ほど会話しながら並走した後、「気を付けて行ってきてください。さようなら。そう私に声を掛け、別路に消えていきました。少し汗ばんだ首下をさわやかな風が吹き抜けていきました。過疎化の進行や閉塞性の強さに目が向けられがちな地域ですが、豊かな自然との共存は、豊かな心の育成に繋がっていることを実感しました。

秋田市の桜満開の便りを耳にした日曜日、穏やかな陽気にじっとしていられず、春を探しに、実家のある藤里町を自転車で巡りました。遠くに目をやると、藤里駒ヶ岳(通称・藤駒)が農作業の始まりを告げる馬の雪形をアピールしていました。以前、「駒ヶ岳」と名の付く山の中で、馬の形が日本一きれいに見える山は、藤駒であると聞いたことがありません。左向きの黒い駒形が中腹に浮かび上がり、まさしくその通りだと思いました。白神山地の一角を占める藤駒は、私のふるさとの象徴です。小学校の校歌にも「名も駒が嶺のすがしさをあしまたに夕に仰ぎつつ」とあり、藤駒を見ない日はありませんでした。その山懐に抱かれ、白神山地から様々な恩恵を受けて育ちました。残念ながら地元の桜はまだつぼみが多く、満開まではもう少し時間がかかりそうでしたが、道中、思わぬ出会いがありました。

## つばき 春探して見つけたもの

